

活動の記録

- S 60・9・28 第21回研究会「ユスリカ幼虫を用いた2~3の実験例」鈴木達夫。
- 10・26 第22回研究会「ハイケボタルの話」杉山 章。
- 12・7 第23回研究会「愛知県内のため池の分布」竹内秀代。
- 12・22 「第4回ため池の自然を考える会」於名古屋市名東区社教センター。参加者45名。
「塚ノ杣池の環境」村上哲生。「県内のため池の分布」竹内秀代。「塚ノ杣池で観察した鳥類」高柳和江。「塚ノ杣池の水生昆虫」杉山 章。「塚ノ杣池付近の木の実、草の実」須賀瑛文。「塚ノ杣池のヒシについて」浜島繁隆。「ため池を活用した自然観察会の実践報告」相地 満。「塚ノ杣池の子供自然観察会の報告」村上哲生。「自然観察指導の場としての塚ノ杣池の活用(提言)」鈴木達夫。
- S 61・1・18 昭和61年度の活動計画について。
- 2・22 第24回研究会「名古屋市のため池の水質と生物相」村上哲生。
- 3・22 第25回研究会「塚ノ杣池の過去数年間における水草の動態」浜島繁隆。
- 4・26 第26回研究会「明徳池の昔と今」高崎保郎。
- 5・31 第27回研究会「塚ノ杣池春季調査報告Ⅰ」
- 6・28 第28回研究会「塚ノ杣池春季調査報告Ⅱ」
- 7・26 第29回研究会「ため池の意識調査の結果について」鈴木達夫。
- 8・23 第30回研究会「池のヨシに付着するユスリカ類について」近藤繁生。
- 9・27 第31回研究会「小堤西池カキツバタ群落調査報告」浜島繁隆。

第2回塚ノ杣池24時間調査を行なって 内田 裕史(高蔵高校)

去る9月6日より、翌日正午まで名東区塚ノ杣池で実施した24時間調査は、天気にも恵まれて好調なスタートであった。参加者は、浜島、近藤、杉山の各ベテラン陣に、私も加えていただいた。この様な調査が初めてである私にとっては、教えていただく事ばかりでした。調査内容は、池および周辺における温度分布と日周変化、飛翔昆虫の終夜採集、水生植物群落内外の水温、溶存酸素量の日周変化であった。各観測点における調査は、2時間毎に実施した。夜10時頃から急に雲行きが危うくなりだし、しばらくすると雨が降り出した。雨の中、調査は続行され、午前1時過には天気も回復した。測定の待ち時間には、有意義な話や、池の探索等で楽しい時間を過ごした。

トヨタ財団身近な環境をみつめよう第4回研究コンクールに応募して

昨年暮浜島会長の提案で、第4回コンクールに応募することが決まった。研究チームは、会員有志数名で組織された。研究テーマは、「名古屋市東部とその周辺のため池の現状調査と都市環境に果す役割および自然教育の場としての活用についての研究」(4C-008)である。応募の結果、全国140件の研究チームの中から、20件の予備研究助成対象候補に選ばれ、50万円の研究助成を受けたが、その後の本研究候補の選考では、惜しくも不採用となった。しかしながら、当研究会の地道な自主研究活動に対する財団側の評価は高く、いくつかの貴重な助言をいただいた。(事務局)